

電気事業

事業概要

電気の小売事業を展開しています。再生可能エネルギーを利用した電気料金プランや法人向け太陽光発電オンサイトサービスも提供しています。

電気のお客さま数は当期中に6万2千件増加し2022年度末には57万6千件、販売量は23億7千万kWhとなり、電気事業の売上高は前期比51.5%増の1,082億円、営業利益は調達費の増加などで105億円の損失となりました。

	2020	2021	2022
売上高(億円)	483	714	1,082
営業利益(億円)	△29	24	△105
電力販売量(億kWh)	16.0	21.3	23.7

電気事業の強化

地域におけるゆるぎないエネルギー事業者を目指す中、お客さまに提供する多様なエネルギーの一つとして、電気事業を強化していきます。また、電源の低・脱炭素化や電力サービスの拡充などを図り、お客さまに当社の電気を選んでいただけるよう取り組んでいます。

安定的な電源調達

四日市発電所などの自社電源に加え、さまざまな調達手段を組み合わせ、安定的に電源を確保します。また、電力系統に直接接続する大規模蓄電池(系統用蓄電池)を設置します。

大規模電源の検討やVPP・蓄電池の活用検討など、自社電源比率向上に資する取り組みを推進します。

電源の多様化を図りながら、再生可能エネルギーの調達に向けて、再生可能エネルギーの電源開発・調達の着実な拡大を目指します。



四日市発電所



津蓄電所(建設中)

電気の低・脱炭素化

再生エネ電源の拡大

太陽光、バイオマス、陸上・洋上風力発電など、多様な電源種の開発・調達を進めるとともに、発電所の運営・管理の安定化に向けて体制を強化していきます。

電力サービス

再生エネ電源等を活用し、電気の低・脱炭素化に資するサービスメニュー等を提供しています。また、電気の効率的な利用を促進するサービスメニューを拡充しています。

家庭向けグリーンエコプラン

実質的にCO₂排出量がゼロ、再生可能エネルギーによる電気の供給となる電気料金プランです。再生可能エネルギー由来の非化石証書を使用しています。

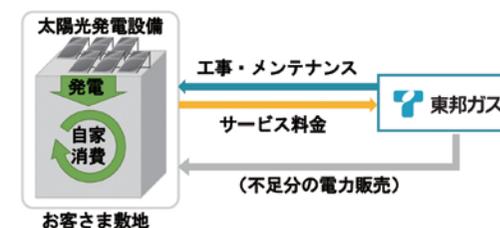
月に300kWh(3,600kWh/年)の電気を使用する場合
スギの木 約100本が1年間で吸収するCO₂の削減に相当します。



※50年生スギの人工林面積1ヘクタール当たりの炭素貯蔵量が170トン、1本当たりでは約190kgに達すると試算され、これを50年で割れば1年間平均で1本当たり約3.8kgの炭素(約14kgの二酸化炭素)を吸収するものとして試算(出典元:森林の二酸化炭素吸収力 林野庁)
※CO₂排出係数を0.000462t-CO₂/kWh(2018年度全国平均係数)として試算

法人向け太陽光発電オンサイトサービス

事業者がお客さま敷地内に太陽光発電設備を設置・所有し維持管理を行い、当該設備で発電した電気をお客さまに供給するサービスです。本サービスにより、お客さまは、CO₂が発生しない再生可能エネルギーを初期投資0円でお使いいただくことができます。



家庭向けデマンドレスポンスサービス「節電チャレンジ」

当社が指定する時間において「Club TOHOGASアプリ」を通じて依頼する節電要請に応じていただいた場合、節電量に応じて節電達成特典を進呈しています。

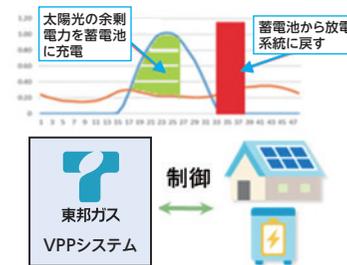


(節電チャレンジの画面例)

※電力・ガス会社による省エネに関する一般消費者向けの情報提供やサービスの充実度を調査し、評価・公表する経済産業省所管の制度。「2022年度 都市ガス・電気」における評価

家庭向けVPP実証試験

家庭用のお客さまの蓄電池等を活用したVPP(バーチャルパワープラント)を構築し、電気の需給バランスへの寄与度を高めることで、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献していく計画です。



VPP実証概念図(太陽光発電・蓄電池の制御)